

大学名

金沢大学

第55号テーマ
「大学と文化・芸術」

表題

文化資源マネージャー養成と文化資源保存・活用の国際ネットワーク構築
～ハイレベルな文化資源マネジメント能力を有するリーダーの育成・排出～

取材対応者



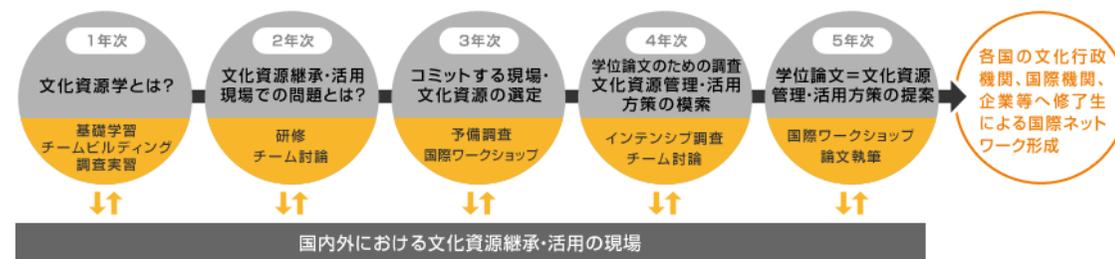
人間社会研究域
鏡味 治也 教授
プログラムコーディネーター

特色ある取組

大学院人間社会環境研究科では、世界各国・各地域で継承されてきた文化資源の将来に向けての意義と有用性を探求し、人類全体に向けたその活用策を案出・実践する「文化資源マネージャー」の養成を目的とした「文化資源学プログラム」を開設している。本プログラムは、平成24から30年度までの博士課程教育リーディングプログラム「文化資源マネージャー養成プログラム」の後継プログラムとして継続しているもので、**プログラム学生は、日本人学生と世界各国の国際交流協定校からの外国人留学生で構成し、多国籍チームの編成で実践的かつ高度な修学を行う。**

「文化資源マネージャー」は、各国の政府機関やユネスコ等の国際文化機関においてその重要性が十分に認識されているものの、高度な専門性と幅広い知識を必要とするために、不足しているのが現状。また、本プログラムのような取組は、本学以外に国内では類例がなく、希少かつ先駆的なものであり、本プログラムを通じて、**ハイレベルな文化資源マネジメント能力を有するリーダーの育成・輩出の充実を図り、国際的な文化資源の保存・活用をリードしていく。**

5年間のカリキュラム概念図



取組の成果・評価

- ★ 国際連携セミナーの定期開催を通じた**文化資源保存・活用に関する国際的ネットワークを構築**
- ★ プログラム修了生の連携による**文化資源保存・活用に関する国際コミュニティの形成**(既にプログラム修了生が**各国の文化資源保存・活用を推進する研究所の研究員や、主要な研究拠点である各国トップクラスの大学の教員として就職**しており、定期的な情報交換を実施)
- ★ 輪島市や地元企業との産学官連携により、輪島塗市場全体の地域活性化を目指す「輪島連携プロジェクト」をH28年度から実施。プログラム外部評価委員会から、**プログラム生のマネジメント能力涵養とキャリア形成支援で高い評価**
- ★ 文化資源研究の論点や方法論をまとめたテキストを編集し、**文化資源マネジメントの基礎理念・方法を確立**

(プログラム生の就職先および実績)

- 文化資源マネージャー養成プログラム生の主な就職先
国内:国立歴史民俗博物館, 東京文化財研究所, 富山市ガラス美術館, 敦賀市学芸員 等
国外:北京科技大学科技史与文化遺産研究院, 上海市文物保護研究センター, チェンマイ大学, ベトナム国家大学 等
- 文化資源マネージャー養成プログラム生の実績
日本学術振興会特別研究員DC1採択 2名, DC2採択 3名
松下幸之助記念志財団, 澁澤民族学振興基金など競争的資金獲得, 日本文化人類学会奨励賞 1名

参加学生の声

インドネシアの代表的な海洋文化のひとつ「南スラウェシの木造船」について、フィールドワーク等を通して、船に表される人びとの技術や知恵、精神、歴史といった文化資源が、どのように継承され、どのような役割を果たしているかを研究しています。将来も文化資源マネジメントに関する調査研究を続けたいと考えており、研究機関だけでなく幅広い活動の場を考えています。プログラムで得た学術的かつ実践的な経験やスキルのほか、多国籍・異分野からなるプログラム生同士のネットワークを今後も活用していきたいです。 大学院人間社会環境研究科 博士前期課程2年 明星つきこ さん

参考URL

文化資源マネージャー養成プログラムWebサイト
<http://crm.hs.kanazawa-u.ac.jp/>